

# インターネットを使つての症例検討会の報告

山形支部 原田 淳

病院では毎日のように各科の医師、看護婦、理学療法士等交え症例検討会を行っています。しかし私たち柔道整復師は、一人医師的状态で日々治療を行っているのが現状である。

そこでインターネットを使い、症例の検討会をするのを目的として「インターネット整骨症例検討会」を発足致しました。

## 方法

インターネット・メールにて画像や文章や動画などの情報交換を行う。

## 例

今までのメールより抜粋(例1・例2・例3)

## 考察

インターネット・メールは、自宅にいながら瞬時に画像や文章などの情報交換ができるため、個人開業している柔道整復師を結び付け、より発展づけるものである。

一人で悩んでいるよりは他の柔整師と語り合つて患者のニーズに答え、より良い医療を心がけるものである。

## これからの課題

\* 顧問医師を設け、医療の中の柔整師を位置づけて行きたいと思う。

\* 同意を簡素化し同意医師との今まで以上の情報交換を行っていききたい。

\* インターネットを使い、医師の検査の元レントゲン撮れるよう法の改正に努力したい。

## 会員数

柔道整復師 32名

## 使用機器

パソコン Fujitsu SV 265

接続回線 LANケーブル64kbps

カメラ CASIO QV-5000SX

スキャナー SHARP jx-330p

ソフト Outlook Express

その他画像編集ソフト

メールアドレス kagetora@ma.catvy.ne.jp